

**資料2-2**

中央教育審議会大学分科会

大学院部会(第115回)

R6.7.11

**令和6年度政策文書  
(大学院関係抜粋)**

## 第2章 新しい資本主義に向けた改革 ～賃上げの定着と戦略的な投資による所得と生産性の向上～

### 3. 投資の拡大及び革新技術の社会実装による社会課題への対応

#### (4) 科学技術の振興・イノベーションの促進

(中略) イノベーションの持続的な創出に向け、国際卓越研究大学制度による世界最高水準の研究大学の実現と地域の中核・特色ある研究大学の機能強化に向けた取組を着実に進め、これら研究大学群が我が国全体の研究力向上を牽引するとともに、戦略的な自律経営の下で、優秀な若手研究者等をひき付ける研究環境の整備や、知財ガバナンス改革を含む研究成果の展開力強化を行う取組を促進する。(中略) また、AIの活用等による英語教育や国際交流の強化を含む教育の国際化を進めるとともに、「トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム」の拡充検討や世界トップレベル大学の理系博士課程への派遣を始め官民一体での留学生の経済的支援策の充実、在外教育施設の特色ある教育活動の充実のための機能強化等を通じ、ダイバーシティに富んだグローバル人材の育成を抜本的に強化する。くわえて、**産学官の共創を促進し、経済社会ニーズに対応した大学院改革や博士号取得者の幅広い活躍の場（官公庁を含む。）の創出につながる取組や処遇向上等を進め、多様なフィールドで活躍する博士人材を中長期的に世界トップ水準並みに引き上げる**とともに、イノベーション創出に向けた地域や産業界の学び直しニーズを踏まえつつ、産業界・個人・教育機関によるリカレント教育エコシステムの創出に向けた取組を加速する。

## V. 投資の推進

### 6. 官民連携による科学技術・イノベーションの推進

#### (7) 地域中核・特色ある研究大学への支援

地域中核・特色ある研究大学の総合振興のため、強みや特色を伸ばす取組を支援する。あわせて、研究時間の確保を始めとする研究環境の改善等、大学の改革を促していく。

#### (8) 国際頭脳循環の確立

日本の優秀な研究者に海外先端研究の経験機会を提供しつつ、海外研究機関からの研究者を呼び込むことを通じて、優れた研究が世界中から日本に集う国際的な頭脳循環を確立する。

#### (9) 国際的な人的ネットワークや研究成果へのアクセスの確保

論文等の研究成果へのアクセスがグローバルな学術プラットフォームの制約を受けている状況を踏まえ、学術プラットフォームに対する大学主体の集団交渉体制の構築、学術論文等の機関リポジトリ（アーカイブ）等の情報基盤への掲載やシステム間の連携、研究成果発信のためのプラットフォームの整備・充実を図る。

#### (10) 博士課程学生・若手研究者等への支援

博士人材や若手研究者の活躍促進のため、インターンシップやクロスアポイントメント制度の活用等を含めた博士人材の多様なキャリアにつながる取組の推進や、博士課程学生を含む若手研究者等の処遇向上、産学官が連携した活躍の場の創出等に取り組む。

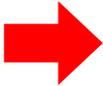
## 3. 着実に推進する3つの基軸

### (2) 知の基盤（研究力）と人材育成の強化

#### ③ 創造的で多様な人材の育成、教育の充実と活躍促進に向けた産学官での取組強化

(博士人材及び若手研究者の活躍促進・場の創出と学生への支援)

・ 社会がより高度化・複雑化する中で、博士人材等がアカデミアのみならず、スタートアップを含む民間企業や公的機関、国際機関等の多様なフィールドで活躍できる社会の実現に向けて、より実践的で多様なキャリアにつながるインターンシップの推進やキャリア開発・育成コンテンツの提供、研究開発マネジメント人材の育成・支援・活躍促進、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）での博士人材の積極的採用促進等による多様なキャリアパスの構築や活躍の場の創出とともに、スタートアップ創出支援・人材供給に取り組む。また、**世界トップ水準の大学院教育を行う拠点形成や教育研究の国際化、教育・研究環境整備などの大学院改革の推進**とともに、特別研究員制度（DC・PD）を始めとした博士課程学生・若手研究者の処遇向上に引き続き取り組む。博士人材の産業界での活躍促進に向け、企業・大学等を対象としたガイドライン策定に向けた省庁横断での検討や、ロールモデルのPR等を通じた博士人材の魅力の発信を行う。さらに、経済団体等に対し、博士人材が産業界等で幅広く活躍する重要性の理解促進に向けた働きかけを行っていくことに加え、企業と大学による優秀な若手研究者の発掘（マッチング）の仕組みも活用しつつ、共同研究を通じた民間企業社員の博士号取得を推進することにより、博士人材の活躍による研究力やイノベーション創出の強化を目指す。

 卓越大学院プログラムの成果や、これらの政策文書の記述等も踏まえ、産学連携や国際協働の推進など、大学院教育改革の取組を支援するプログラムについて概算要求に向けた検討を進めていく